

いたばしの文化

発行：板橋区文化団体連合会 会長：川口 雅敏 編集：板橋区文化団体連合会広報部



第59号

CONTENTS

題字：板橋区長 坂本 健

- | | |
|-------|--------------|
| 02 | ご挨拶、板橋温故知新 |
| 03 | 令和7年度板橋区民文化祭 |
| 04・05 | 文化を楽しむ暮らし |
| 06 | いたばしを伝える |
| 07 | 文化コラム |
| 08 | 人間模様 |

会長挨拶

板橋区文化団体連合会
会長
川口雅敏



今年度から区民文化祭において26事業目となる「区民将棋大会」を開催する運びとなり、それに伴い「囲碁連盟」が「囲碁将棋連盟」に生まれ変わり、文化連に新たな風が吹き込まれました。発足から52年が経った今もなお、文化連は進化し続けております。

今年は大阪・関西万博が開催され、世界中から多くの人々が日本に集まり、日本の文化への関心が高まっています。これを契機ととらえ、文化連が一丸となって区民文化祭を盛り上げること、板橋の文化芸術の魅力を発信していきたいと思っております。

今後とも、文化連へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

区長挨拶

板橋区長
坂本健



板橋区文化団体連合会の皆様には、日頃より区の文化芸術振興に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

これまで多くの方々に文化芸術の楽しみを提供してきた文化連の皆様は、「文化のかがやくまち」板橋の「主役」であり、区民文化祭を始めとする多彩な活動は、地域に根差した文化の醸成と、区民の心の豊かさにつながっております。

長年積み重ねてこられた活動の成果に敬意を表するとともに、今後も文化連の皆様のご活躍により、文化の力で人と人とのつながることで、魅力あふれる板橋区がより一層発展していくことを期待しております。

区民将棋大会開催！新行事です

是非ご参加ください（申し込み定員あり）

第一回「区民将棋大会」
日程 令和7年11月30日（日）
会場 グリーンホール2階ホール



板橋温故知新

北尾重政が手がけた縁起物

「白澤辟怪之図」

板橋区立郷土資料館
学芸員 増田由貴

大河ドラマ「べらぼう」の登場人物の中でも、とりわけ薦重（つたじゅう）の商売の初期を支えた人物として知られる北尾重政（1739～1820）は、自身が本屋（書肆「しよし」）の家に生まれ、絵師としても名を挙げた人物です。その重政が手がけた刷り物で、もとは成増の旧家にあった掛軸が、板橋区立郷土資料館に所蔵されております。右から横書きに「白澤辟怪之図（はくたくへきかいのず）」とあり、その下に画賛（がさん）が記され、特徴的な獣の姿が描かれています。獣の絵の右脇には「東都擅画 北尾重政撰」とあります。この「擅画（せんが）」とは擅（ほ）いままに画（えが）くという意で、重政の落款（らくかん）にたびたび用いられた語です。

ここに描かれた白澤とは、古代中国の伝説上の君主である黄帝が中国全土を巡った際に会った神獣で、徳のある帝王のもとに現れるとされますが、中国では唐代から白澤を描いた辟邪絵（へきじゃえ）が流行しました。辟邪とは禍（わざわ）いを避け福を招くことで、もののけに詳しい白澤の絵を貼れば、その禍いから免れることができることから縁起物となり、江戸時代中期以降、絵や刷り物に多く描かれました。日本で一般に流布したその姿は、牛の体に人の顔、両眼と額にも眼があり、さらに両わきに3つずつ全部で九つの眼がついており、背中に角があります。

賛は「事林広記」（13世紀初頭以降に成立）からの引用で、「赤蛇落地 鬼名大扶」（赤蛇が地に落ちる、この怪異をなす鬼の名は大扶）というように身近な怪異とそれを引き起こす鬼神の名を列挙し、鬼神の名を呼べば禍いは消えるとの旨を記しています（佐々木聡「復元白沢図―古代中国の妖怪と辟邪文化」）。

このような資料が成増の旧家に所蔵されていたことからみると、江戸での流行やそれを支えた出版文化が、現板橋区域を含む近郊農村にまで広がっていたことが確認できます。

最後に、この記事をご覧になった皆様の禍いを避け福を為す一助になれば幸いです。



書道文化振興に邁進

書は人なり心なり

板橋区書道連盟

近隣の教室（先生）をご紹介します
会長 前田惣遠

☎03-3937-5049



ぶらり、いたばし

まちあるき・イベント・グルメ情報は板橋区観光協会HPで！



全国にお花をお届けします

- ◇式典企画・冠婚葬祭
- ◇フラワーディスプレイ ＊企画デザイン＊
- ◇テーブルアレンジメント

有限会社 ライトフラワー

代表取締役 桑名邦次
〒174-0054
東京都板橋区宮本町 66-7
TEL 03 (3960) 3641
FAX 03 (3969) 1543



株式会社 長太郎不動産
Best choice for your life

東京都板橋区成増3-23-5
3930-0002(代)
www.choutarou.co.jp

成増・高島平・蓮根・本蓮沼・大山・平和台
春日町・光が丘・和光市・川越・若葉・坂戸

10月の催し		
催し	日程	会場
区民書道展	10月9日(木)～12日(日)	区立美術館
美術家作品展	10月15日(水)～19日(日)	区立美術館
阿波おどり大会	10月18日(土) 区民まつり参加	区立グリーンホール前道路
区民美術展	10月22日(水)～26日(日)	区立美術館
区民手打ちそば体験講座1回目	10月25日(土)	志村コミュニティホール
バレエ&ダンス秋の祭典	10月26日(日)	区立文化会館 大ホール
書家作品展	10月29日(水)～11月2日(日)	区立美術館
11月の催し		
日本趣味のつどい	11月2日(日)	区立文化会館 小ホール
日本民謡のつどい	11月2日(日)	区立文化会館 大ホール
詩のつどい	11月3日(月・祝)	区立グリーンホール 2階ホール
日本舞踊のつどい	11月3日(月・祝)	区立文化会館 大ホール
いけ花展	11月8日(土)・11月9日(日)	区立文化会館 大会議室
お茶会	11月8日(土)・11月9日(日)	区立文化会館 茶室・和室
合唱のつどい	11月9日(日)	区立文化会館 大ホール
区民俳句大会	11月15日(土)	区立文化会館 大会議室
謡曲と仕舞のつどい	11月15日(土)	区立文化会館 和室
小倉百人一首大会	11月16日(日)	区立文化会館 和室
珠算競技大会	11月16日(日)	成増アクトホール
三曲のつどい	11月16日(日)	区立文化会館 小ホール
区民囲碁大会	11月16日(日)	区立グリーンホール 2階ホール
秋の歌謡まつり	11月16日(日)	区立文化会館 大ホール
区民手打ちそば体験講座2回目	11月22日(土)	志村コミュニティホール
吟詠剣詩舞区民のつどい	11月23日(日・祝)	区立文化会館 小ホール
民謡のつどい	11月23日(日・祝)	区立文化会館 大ホール
ITABASHI音楽のつどい	11月24日(月・祝)	区立文化会館 大ホール
演劇のつどい	11月29日(土)・30日(日)	区立文化会館 小ホール
区民将棋大会	11月30日(日)	区立グリーンホール2階ホール



お問い合わせ

板橋区文化団体連合会事務局
☎ 3579 - 3321

最新情報はここから

板橋区公式
ホームページ

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/bunka/event/1052837/index.html>



板橋区文化・
国際交流財団
ホームページ

<https://www.itabashi-ci.org/cul/events/9920/>

板橋区民踊連盟
11月23日(祝)「民謡のつどい」
新舞踊・民謡・「舞い上がりITABASHI」など

<文化会館大ホール、小ホール>
問い合わせ: 藤岡090-6548-2039

区民文化祭
日本舞踊のつどい

日時 11月3日(日・祝)
13時開演

会場 区立文化会館
大ホール

入場無料
出演者募集

板橋区日本舞踊連盟

人とまちを文化でつなぐ

板橋区
文化団体
連合会

〒173-8501
板橋区板橋2-66-1
板橋区役所文化・国際交流課内
☎ 3579-3321 FAX 3579-2046
e-mail: kb-bk-kanri@city.itabashi.tokyo.jp

板橋区
囲碁将棋連盟

歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩
角 飛
香 桂 銀 金 玉 金 銀 桂 香

新しい趣味を始めることは伝統文化を再認識したり人間関係を広げることにつながります。当コーナーでは趣味を通じて日々を充実させた方々や文化活動に邁進されている方を紹介します。



私達、ITABASHI I音楽振興協会の主な活動は、区内で音楽活動をしているサークル、団体などに、音楽文化の普及発展のサポートとして、発表の場を提供することです。毎年11月に区民文化祭の一環として、文化会館大ホールにて発表会を実施していますので、日頃の練習の成果を思いっきり発揮してください。

2番目としては、青少年吹奏楽教室のサポートです。区内に在住の小学校4年生・高校3年生を対象に行っています。貸出楽器もあり、年2回の発表会も行っています。専門の講師が丁寧に楽しくレッスンをします。

私達の活動は、昭和55年1月に、板橋区青少年音楽振興協会として正式に発足して、昨年団体名称をITABASHI I音楽振興協会に改名しました。早いもので、今年で47年目を迎えました。コロナの影響もあり、2年間、音楽活動が制限されましたが、近年では学校関係のほか、管楽器、和太鼓、ウクレレ、ダンスミュージカル、チャリティーデニング等色々な団体の参加が増えてまいりました。

文化を楽しむ暮らし

おもてなしの心と暮らしに彩りを

茶華道連盟 切田宗順



私どもの連盟は昭和二十三年に創立され、七十七年目を迎えることができました。多くの諸先輩に築いていた、だいた茶華道連盟の伝統文化を次世代へ守り、繋ぎ続ける役目を担っています。

都会の喧騒と雑音の中に住んでいると、肌に触れる風、木々や草花を揺らす風の音、炭を置き釜をかけた火が熾り、やがて湯が沸き出す音など、静寂の中に身を置くことができにくくなりました。五感を研ぎ澄ませ心静かにお茶を点て、季節の移ろいを花に生ける。そのようなひと時を続けられたらと願っています。

主な活動は区民文化祭・茶会。区民まつり。夏休み子ども生け花茶道体験教室。かくしやく講座茶道・華道教室。東京都華道茶道連盟主催による護国寺茶会。浜離宮恩賜庭園での茶会・生け花体験。東京芸術劇場での彩花展。都庁生け花展示等。一緒に活動してくださる方々、お待ちしております。

音楽を楽しむ暮らし

ITABASHI I音楽振興協会 馬場充好

1959(昭和34)年ラジオの「八重衣」を聞き、この時から尺八に魅入られて以後現在に至るまで趣味としてではあるが、精進しています。その後、板橋区三曲連盟発足後、入会しました。

三曲とは、箏(琴は間違いない)と三絃(三味線、尺八の楽器とこれ等で演奏される曲をいいます。近年、邦楽全体が低迷しています。約四百年以上の歴史をもつ邦楽は、日本人の心の支えとして発展してきたものです。当三曲連盟では、区主催の文化祭に演奏会の開催や、区民まつり、地域主催の梅まつり、桜まつりなどで演奏しています。しかし、現実には邦楽に興味をもっている方は、少ないといえます。ぜひ、各地で開催される祭や式典に、この素晴らしい邦楽の演奏参加をお願いいたします。

一方、邦楽に携わる者も日々の自らの研鑽と区民の皆様への提供に努めています。ただ、自らの推進する努力を怠ることが大切だと考えています。

邦楽の普及を願って

三曲連盟 穂積政美



令和5年 新年賀詞交歓会

和6年度小学生珠算技能発表大会

そろばんの競技大会という二級合格者や段位習得者たちがその技を競う大会と思われる方が多いと思いますが、高学年から習い始めたり、思うように進めなかった子どもたちを交えての「小学生技能発表大会」があります。自分のもてる力を発揮できるであろう級をエントリーし、挑戦します。そしてそれぞれにご褒美をいただきます。

大会などに出場することはその子どもを二回も二回も大きくします。そして、これからの受験などに備えての力にもなり思い出にもなることでしょう。それには親御さんの温かい目が大切です。「なんだ……」などというがっかりの言葉は、その子ども達の心の一生のプレッシャーとなり、やる気を削いでしまいます。子ども達の目を大切に育てるのは大人の役目です。

私たちも花に育つまでの一面を担わせていただけただけのことに喜びを糧に連盟一丸となって取り組んでいます。

珠算大会の話

珠算教育連盟 早川幸子



私たちが江戸流手打ちそば二八の会は、板橋区に居住するメンバーを中心に、江戸流の手法に基づき、そばを打ち、打ったそばを皆で食する趣味の団体です。活動を始めて22年、そば打ちを地域に普及する活動を行っており、活動場所は「まなぼーと成増」で、月2回練習会を開いております。

活動メンバーは男女合わせ40名を数え、30、80歳代と幅広い年代の仲間が活動しております。そば打ちは

いたばしで楽しむ趣味のある暮らし

江戸流手打ちそば二八の会 岡節雄



男の趣味と思いきや、3分の1を女性が占めています。

そばを美味しく食べるには、①(そば粉を)挽き立て、②(そばの)打ち立て、③(そばを)茹でたてと3立てが大事と言われており、打ったそばをその場で茹で、そばの出来合いを皆で論じながら和気あいあいと時間の経過を楽しんでいます。そば打ちに興味のある方は、是非、私たちと一緒にそば打ちを始めてみませんか。

ご興味のある方は、連絡ください。いつでも歓迎です。

洋舞連盟の活動

洋舞連盟 板沢寿美

洋舞連盟は、クラシックバレエ・モダンダンス・ジャズダンス各団体の先生方が切磋琢磨しながら生徒を指導し、踊ることを通じて身体を鍛えることはもちろんのこと、人としての大事な精神の向上を目指して日々努力しております。

「1回の舞台は100回のレッスンにも勝る」という言葉もあります。



が、総合芸術としてのきちんとした舞台創りには、どうしても費用が多くかかり、なかなか開催するのは大変です。

文化祭は板橋区・板橋区文化団体連合会・(公財)板橋区文化・国際交流財団で共催となっており、各団体が個々で開催するより安価に参加できるので本当にありがたいと感じています。

ただ、参加者のほとんどは学生や仕事をしながらですので、プロのダンサーのように毎日練習はできず、何か月もかかってやっと一つの作品が完成となり、その間の練習を通して、皆で一つの目標に向かって努力することがどんなに大切か、その中で責任感・連帯感・やり遂げた時の充実感等を感じ取ってくれることを願い、それが人間としての大きな成長に繋がると信じて活動しております。

板橋区美術家連盟



美術にあふれる板橋をめざして
代表 返町 勝治
03-3909-0621

バレエ&ダンス 秋の祭典No.42

2025年10月26日(日)
区立文化会館大ホール
16時開場 16時30分開演

若さ溢れる
ダンサーたちのステージ

板橋区洋舞連盟

美味しいおそばを打ってみませんか!

江戸流手打ちそば
二八の会

『まなぼーと成増』
そば教室:毎月2回開催
第1土曜日&第3日曜日/朝9時~

入会費:2,000円/年会費:1,500円
連絡先:岡節雄 090-5411-9962

板橋区茶華道連盟

各種流派活躍中

連絡先 理事長切田宗順 3938-0182

板橋珠算教育連盟

日本のミライ

連絡先 理事長切田宗順 3938-0182

板橋区三曲連盟

箏・三絃・尺八の演奏団体

関口雅美樹
03-3938-6096

板橋区歌謡連盟

歌謡連盟会長 浅沼 久夫

事務局 板橋区成増 3-1-7-101
成増アーバンライフ
03-5383-0078

ITABASHI 音楽振興協会

区内で音楽活動をしているサークル、団体等に発表の場を提供しています。

私たちと一緒に文化会館大ホールで思いっきり楽しんでみませんか。

03-5980-8037 馬場

いたばしを伝える

いたばしの祭り囃子

神田流神明囃子保存会
矢古宇朋江

当保存会は、板橋区の郷土芸能として無形民俗文化財に指定されており、地域や区の行事などに積極的に参加しています。また、かつて神明宮と呼ばれていた「ときわ台天祖神社」の宮元囃子として発足されたこともあり、神社の行事に合わせた活動もしています。

秋の祭禮ではお神輿の盛り上げ役として囃子連が演奏し、毎年恒例の宮入りで迫力ある祭りの風景を見ることができず。

近年は、板橋区の「ふるさと文化伝承事業」に参加し、地元の小中学校で体験学習を行っています。

この文化伝承事業を通して、古く神田から板橋に伝わったとされる五人囃子の演奏を子どもたちの前で披



露する事が出来ました。また実際に本物の和太鼓に触れてもらい、覚えてもらった囃子のリズムを囃子連と合奏をすることで、伝統文化の魅力にも触れてもらう事が出来ました。

文化の伝承、継承は重要なことではありますが、演者が次世代を育てていくことは容易ではありません。それでも、神明囃子の祭り囃子は区民の皆さまに、この音を届ける貴重な場を多く得ています。

「文化は人と人を繋ぐ」といういたばし文化連の理念のもと、祭り囃子が世代を超えて受け継がれていくよう、今後も大切に守り、伝えていきたいと考えています。

赤塚獅子舞とその継承について

赤塚諏訪神社獅子舞保存会
小松弘明

私たち赤塚諏訪神社獅子舞保存会が継承している獅子舞は江戸時代以降、下赤塚村の祭礼として伝承されており、延宝元年（1673）に、春日太郎兵衛以下数名が日光二荒山神社権現祭に行った際、当時流行していた風流獅子舞関白流を習い、下赤塚村に伝えたのが始まりだと言われています。その年の五穀豊穡、悪疫退散を祈願して、諏訪神社、八幡神社に奉納し、村の各所で舞われていました。当保存会は昭和52年に結成され、獅子舞は昭和58年度に板橋区の無形民俗文化財に登録されました。現在、約30名が在籍しており獅子舞の継承を担っております。稽古は月2回行っており舞の所作等を細かな部分までしっかりと伝えております。こうして技術の向上を図り、諏訪神社、八幡神社に獅子舞を奉納しておりますが、お陰様でその他にも獅子舞を披露する機会をいただ

いたしております。地域の行事や個人・企業等のお祝い事など色々ありました。披露する機会をいただくことにより赤塚獅子舞の認知が広がり、後世への継承がなされていくものと思えます。私たちはこの獅子舞を後世へしっかりと引き継ぐために努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしく願います。



板橋区俳句連盟

令和7年度板橋区民文化祭は11月15日(土)に区立文化会館にて実施いたします。

令和8年3月は俳句連盟主催の俳句大会を開催いたします。

投句も受け付けます。また小学校の寺子屋にて俳句教室を行っています。

会長 上田桜 ☎090-2249-6399

板橋区謡曲連盟花伝会

区民文化祭 2025

謡曲と仕舞のつどい

11月15日(土)10時始
区立文化会館 第1第2和室

ご来聴歓迎

事務局 田辺 090-1253-9907

郷土芸能団体連合会

国指定無形民俗文化財

- 赤塚諏訪神社田遊び保存会
- 徳丸北野神社田遊び保存会

区指定無形民俗文化財

- 徳丸北野神社獅子舞保存会
- 赤塚諏訪神社獅子舞保存会
- 神田流神明囃子保存会
- 徳丸四ッ竹踊り保存会
- 大門四ッ竹踊り保存会
- 相模流萩原由郎社中
- 成増里神楽保存会
- 大門餅つき保存会

以上の10団体が組織しております。

神田流 弥生囃子保存会

楽しみながら多くの仲間と地域社会に貢献してみませんか



丸山

3955-6985

文明と文化

白狼



—南ゴビの草原で—
板橋区文化団体連合会相談役 中原道夫



南ゴビの草原の夜明けは、言葉
を忘れ、感動だけが心に残る
ものだった。暗黒色の地平線が
紫色に揺れ動き、それが茜色に
変わり、光とともに火の玉のよ
うな太陽が昇ってくる。それは
大地を揺り動かす一大交響曲と
言ってよいだろう。ぼくは、一
瞬おのれを忘れ、人類誕生時の
ヒトになり、大声をあげながら、
太陽に向かって走った。

疾走するのだ。ぼくらの眼には
何も見えないが、彼らの視力は
4・0ぐらいあるという。子ども
の時からよく見えると言われた
ぼくの視力ですら1・5。白狼は
懸命に走るが、やはりポンコツ
車といえども車は車、数分後には
白狼が視界の中に入ってきた。

その日の午後、
ぼくらは、アル
タイ山脈の麓ま
で行くことにな
り、ボンネット
の壊れたソ連製
のポンコツ車で、
草原を走行して
いたときである。
突然、ドライバ
ーが大声で「白狼
だ」と叫ぶと、
右に左にとエン
ジンフル回転で、

を握ってはいらぬのだが／実は、馬
に跨り／草原を走る勇士になっ
ているのだ／右に左にと車を操
るハンドルさばきは／馬を操る
手綱さばきによく似ていた／目
を離すな／いつしか、ぼくも／
馬に乗り槍を持ち／白狼の群れ
を追う草原の男になっていた／
／「走れ、走れ」／ぼくは馬に
鞭当てた／懸命に逃げる白狼の
群れ／それを追いかける狩人の
本能／「走れ、走れ」／ぼく
は追い続けた／けれど、走り
つづけるうちに／ぼくは自分自
身が追手ではなく／白狼になっ
て走っているのに気がついた／
／「逃げる、逃げる」／「人間
から逃げろ」／「文明から逃げろ」
／ぼくは走り続けた／野生の
駱駝も馬もぼくと一緒に走った／
目の前にアルタイ山脈が迫って
きた

その日のうちに書いた作品で
あるが、なぜ追手であるべきば
くが、逃げていく白狼になったの
だろう。その夜、満天の星空の
下で、ぼくは星と一体となった。
けれど、何億光年の彼方からやっ
てくる星の光は、はたして現実に
存在するものなのだろうか。地
球に達する星の光から比べれば、
文明とか、社会とか、それは一瞬
の瞬きに過ぎないものであろう。
ぼくらは留まることを知らない。
文明から逃げなければならぬ。
「逃げる、逃げる、文明から逃げ
ろ」ぼくは大きな声で星に向かっ
て叫んだ。

板橋区詩人連盟 樹の会

毎月第3日曜日PM2時より文化会館
第3会議室で中原道夫先生の指導で
詩の勉強会をしています。
どなたでも参加できます。

連絡先
3969-2916 湯浅京子

板橋区 日本趣味の集い

日本舞踊、箏曲、江戸芸、端唄、長唄、
琵琶、沖縄音楽、空手など、日本の伝
統文化・音楽の様々なジャンルが集う
団体です。
区民文化祭と一緒に演奏披露しませんか。
皆様のご入会をお待ちしています。

若柳正樹
049-246-3783

楽しみながら覚えやすい
競技かるたの取り方を教えます
皆様の入会をお待ちしています

板橋区 百人一首連盟

月3回 年会費 5,000円
会長 春野香織
連絡先 itahyaku@gmail.com

板橋区演劇連盟

1981年
区民公募の演劇のつどい
スタート

1982年
演劇のつどいの参加者を
中心に演劇連盟結成

・岡本 進之助 演劇連盟元会長
・山内 榮治 演劇連盟会長
・遠藤 栄蔵 演劇連盟副会長

吟剣詩舞道連盟 五訓

一、詩を吟じて心身の健康に努めよう
一、詩を吟じて明るく楽しく元氣よく
一、詩を吟じて青少年の育成に努めよう
一、詩を吟じて心豊かな社会づくり
に努めよう
一、詩を吟じて幸せな人生を
楽しめよう



あなたのそばに
いつも民謡を

板橋区民謡連盟

民謡連盟会長
鈴木 弘
TEL3969-9705

板橋区 合唱連盟

連盟行事
♪合唱フェスティバル(6月)
♪区民文化祭合唱のつどい(11月)

加盟団体募集中

木村 03-3934-6235



音楽のある生活を

オペラ歌手 宗田舞子さん

「アーティストバンクいたばし」

に登録されている、オペラ歌手の宗田舞子さん。国際的な舞台での輝かしい実績をもちながら、現在板橋区で「アコルデ音楽教室」を主宰し、地域に根差した活動もされていらっしゃるようです。今回は、そんな国内外で幅広く活躍される宗田舞子さんのご自宅兼音楽教室を訪ねました。



オペラとの出会い

小さい頃からピアノが大好きで、ピアノの先生になるのが夢でした。東京音楽大学のピアノ科に入学しましたが、2年次より副科で個人レッスンをとり、その時の先生に声がいいからと勧められ、ピアノ科卒業後、研究科からオペラコースに転科しオペラの道に入りました。ピアノから歌への転向は大変珍しく、学校始まって以来だと言われました。そして、25歳の時にオペラ「愛の妙薬」の主役アディーナでデビューし、オペラ歌手としてのキャリアが幕を開けました。



意と声を評価していただけて先生に指導していただけることになり、3年半個人レッスンに



世界への飛躍と3つの夢

2011年に主人のニューヨーク転勤に伴い渡米し、5年間のアメリカでの生活が人生の転機となりました。アメリカの名門音楽院であるジュリアード音楽院の社会人オーディションに合格し、奇跡的に欠員の出た枠に入ることができました。そこで指揮者の先生のオペラクラスに1年半通ったのちに、出逢ったのが、ミラノ・スカラ座やメトロポリタン歌劇場で活躍されている世界的テノール歌手である、フランシスコ・カサノヴァ氏でした。このチャンスを絶対に逃してはいけないと思い、すぐにレッスンを申し込み、弟子入りを志願したところ、熱意と声を評価していただけて先生に指導していただけることになり、3年半個人レッスンに



通いました。2013年には、カーネギー大ホールで東日本大震災のチャリティコンサートが行われることになり、そこでソリストとして出演する機会をいただくことになりました。カーネギー大ホールは3000人規模のホールで、自分の声が届くか心配でしたが、声を出してみると5階席まで声が届いていくのを感じ、一流のホールの音の響きに感激しました。こうした運命的な出来事が重なった結果、私が目標としていた「ジュリアード音楽院で学ぶこと」「素晴らしい先生に指導を受けること」「カーネギーホールの舞台に立つこと」という3つの夢が叶ったのです。



また、NY国連大使公邸にも度々招かれ、レセプションで国歌を独唱したり、ソロリサイトを開催していただき、各国大使の前でドレスの上に着物をはおって日本の歌を披露するなど、国際的に文化交流を担うことができました。



オペラへの思い

オペラは歌、芝居、衣装、セツト、オーケストラやバレエなど総合芸術として多くの出演者によって創りあげられます。何百年も前の作曲家から生み出され、歌い継がれ、現代に伝承されてきた素晴らしいものです。たった3時間ほどの一瞬の公演ですが、演者は何ヶ月、何年もかけて練習し日々の鍛錬の成果を披露します。海外では毎日のように公演がありますが、日本では環境が追いついておらず、あまり見る機会がないことから敷居が高いイメージがあるかもしれませんが、私がオペラに関わらせていただくことで、周りの方々が公演を観劇し、オペラの世界を知りきっかけになってくれたら嬉しいですね。

取材を終えて

美術家連盟 藤咲億桜

オペラのプリマドンナへの取材ということでしたが、ご挨拶と同時に、場の空気が色づき、伺いたいことがあふれて、あっという間に約束の時間が：ディーバの歌声の余韻とともに、感謝の取材でした。



板橋との関わり

帰国後も良い師に恵まれ鍛錬を続けつつ、コンサートやオペラでの主役を歌う他に、板橋では学校、成人式、お祭り、お寺、プラネタリウムなど、コンサートホール以外にも地域のイベントで演奏させていただいております。12月には板橋区グリーンカレッジのイベントでコンサートをさせていただく予定です。また、私の音楽教室は、幼稚園生から90代の方まで、ピアノを初めて習う生徒から本格的に声楽を勉強する大人まで、幅広い年代の方に通っていただいています。音楽を通して地域の皆さんの活力になれることを大変誇らしく思っています。